

米子市は

ひらがなの読みの向上を応援します！



小学校 1 年生の
保護者のみなさまへ



ひらがなが読めることは、小学校 1 年生にとって、とても大切です。

そして、これから先の学びを支える学力の基礎となります。

米子市では、平成 29 年度より「T 式ひらがな音読支援」を取り入れた音読指導を行い、児童の読みの力を伸ばし、学校生活をより楽しく豊かなものにしていこうと取り組んでいます。

か、



T 式ひらがな音読支援とは…

鳥取大学・小枝研究室が開発したものです。読みにくい文字や、誤って読んでしまう文字を、個別指導によって減らすことができ、多くの子どもたちの読みが改善されたというデータが得られています。

年に 3 回（6 月，11 月，1 月～2 月）音読確認を行い、タブレット端末を用いたひらがな読みの練習を個別に行っていきます。1 日 5 分間、できれば、連続 21 回（日）行うことが理想とされています。



読めると…いいことたくさん！

言葉の意味が
分かるように
なります。

文章がすらす
ら読めるよう
になります。

授業がよく分か
り、学ぶことが楽
しくなります。

本を読むこと
が好きになり
ます。



学校って楽しいな

よしがんばるぞ！

鳥取県立総合療育センター 院長

小枝 達也 先生 より

この「T 式ひらがな音読支援」によって一人でも多くの子どもたちの音読がスムーズになったり、文字や本を好きになったりすることを期待しています。



音読支援（タブレット端末等を使ったひらがな読みの練習）について

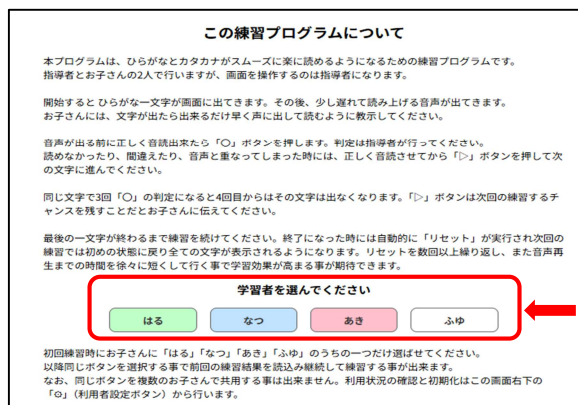
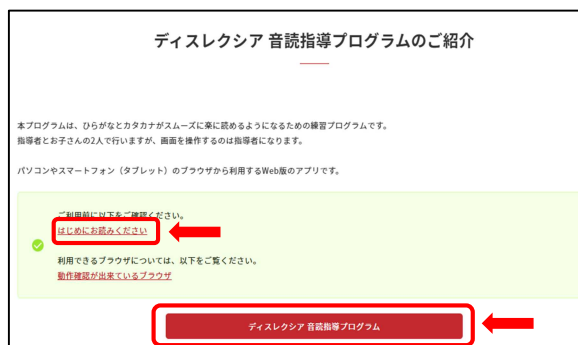
この2次元コード（URL: <https://t-shiki.jp/>）から、
ホームページに入れます。



T式ひらがな音読支援では、ひらがなを読む抵抗感をなくすために、タブレット端末を用いて瞬間的に文字を読めるようにしていきます。

そのために、1日5分間、連続21回（日）練習をしていくことが理想とされています。この練習は原則として学校で行いますが、ご家庭でも取り組んでいただくと一層効果が上がると言われています。ご家庭での練習方法は以下の手順・方法で行うことができます。

1 音読指導アプリの利用方法



①「一般社団法人 T式ひらがな音読支援協会の」ホームページを開き、画面右上の「音読指導アプリ」をクリックします（スマホの場合、メニュー内にあります）。

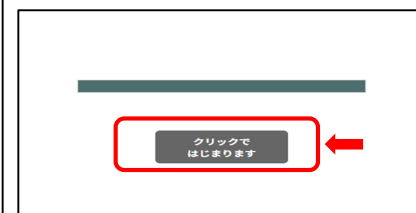
②「ディスレクシア 音読指導プログラムのご紹介」のページに入ります。「はじめにお読みください」をクリックし、アプリの使い方などを確認します。確認後、「ディスレクシア 音読指導プログラム」をクリックします。

③「この練習プログラムについて」のページに入ります。説明を確認後、「学習者を選んでください」の下「はる」「なつ」「あき」「ふゆ」のうちの1つだけを、お子さんに選別せて、クリックします。

2 練習設定



・「練習設定」のページに入ります。最初は「初心者」から初めて、慣れてきたら徐々に時間を短くし、「中級者」「上級者」に設定します。「コース選択」から最初は、やさしい「ひらがな直音」を選択し、クリックします。



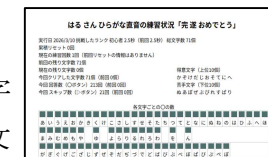
・「クリックではじまります」をクリックすると練習が始まります。

3 練習のポイント

- ・画面にひらがなの文字が出たら、正解の音声が出る前にその文字が言えるように練習します。
- ・「○」か「×」の判定は大人が行います。不正解だったり、正解の音声より遅れて言ったりした時は、「次回はがんばろうね。」「おしかったね。」などと励ましたり肯定的に声をかけたりしながら「×」を選択してください。同じ文字で3回「○」をもらえると、4回目からその文字は出なくなります。



練習画面



練習状況の確認画面